

# 公民館だより さくらぎ



平成19年 5月号  
No. 230

桜木公民館

周南市城ヶ丘2-4-21

TEL 0834 (28) 5973

FAX 0834 (29) 0788

sakura-ko@city.shunan.yamaguchi.jp

地域の願いと学校の願いがヒタリと一致しました

そっ たく どう じ

## 啐啄同時!

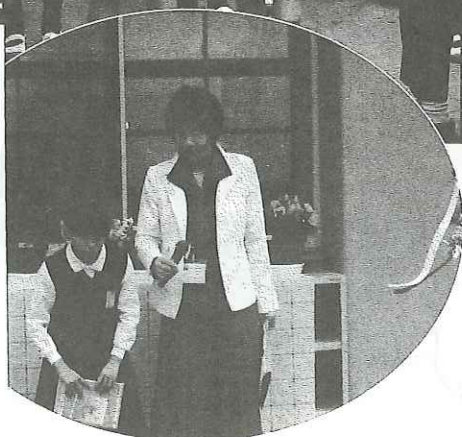
桜木コミュニティスクール推進委員会  
田村勇一 推進委員長  
『子どもたちを  
見守り 育ててくたさう』



桜木小学校  
篠田俊治 校長先生  
『ふれあいの場を  
しっかりと増やしてくたさい』



児童代表  
石田眞子さん  
『たくさんの先生方ができて  
うれしいです。  
いろいろなことを教えてくたさい』



4月13日 桜木小学校の中庭で、「桜木ふれあいルーム」の主役である学校と地域の代表者が出席して開設式が行われました。

桜木小学校北門に近い「桜木ふれあいルーム」の前で子どもたちと地域の方々が対面し「なかよく勉強しましょう。よろしくお願ひします。」とあいさつを交わしました。

子どもたちと地域の先生方とが会って、どんな宝物がうまれるか楽しみです。

☆公民館は、心が安らぐところです。

・花づくりについての様々な相談に立ち寄られる方があります。

・地域活動やサークル活動、各種団体の相談事などにもよく立ち寄られます。

公民館は「よろず相談室」にもなり、相談事の聞き手になったり、解決の仕方を一緒に考えたりもしています。  
チョット公民館に寄ってみられませんか！  
若いお母さん方の閲覧室を使った家庭教育の井戸端会議などいかがでしょうか。



ゴム版画は  
城ヶ丘5丁目  
Iさんの作品

『心のかよう  
公民館』を目指して

「地域の皆様方に喜ばれ、少しでもお役に立てる公民館であつたらうか」  
公民館では、年度毎に管理運営について自己点検し、運営審議委員会や生涯学習推進協議会のご意見を伺いながら、まちづくりに貢献する公民館の実現を目指しています。

本年度は、桜木小学校に「桜木ふれあいルーム」が開設され、少しはゆとりのある、公民館運営が期できそうです。

☆公民館は、生きがいが見つかるところです。

今年度は、午前の部・午後の部・夜の部の時間帯に 49 コマの講座を設けています。生活時間に余裕のできたお方は、受講されてはいかがでしょう。心にハリができて充実した生活がおくれるはずですよ。

チョット公民館に寄ってみられませんか！  
自分の目で見学し、学習の楽しさ確かめてみてください。  
きっとお誘いの声がかかりますよ。



ダンス同好会の  
学習風景

☆公民館は、

世代間の交流ができるところです。

土曜日・日曜日には、子ども講座があります。学校の図書室にはない本を求めて立ち寄る子どもがいます。パソコンで学ぶ若者、「何かがある。誰かがいる」を求めて立ち寄られる豊齢者、玄關横の閲覧室は様々な世代の顔に出会えます。

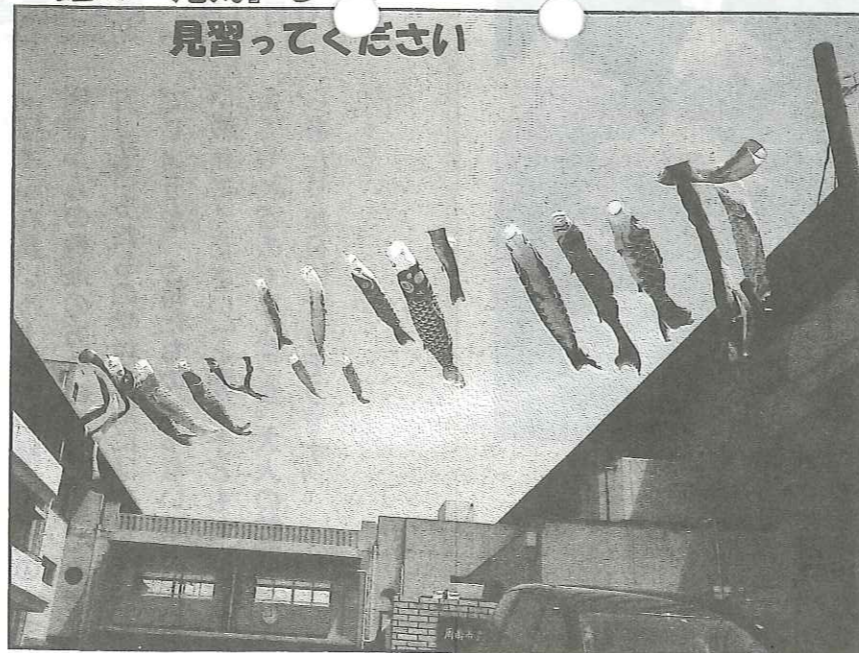
チョット公民館に寄ってみられませんか！

公民館での世代を超えたひとときの交流が、人と人のお付き合いの仕方を教えてくれます。



4/13 「地域活動の殿堂」  
桜木ふれあいルーム  
開校する

鯉の「元気」を  
見習ってください



鯉のぼり  
今年度は小学校の中庭に泳ぐ

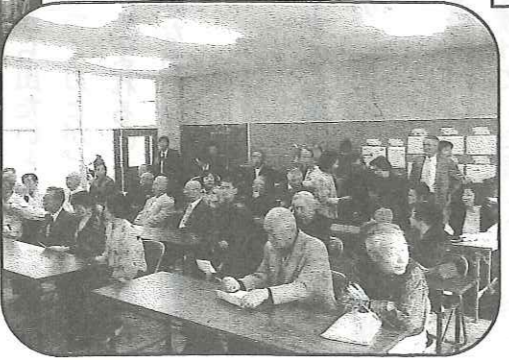
多くの方々からのご惠贈  
ありがとうございました

4月の活動記録簿

4/10 新入生が胸をふくらませて校門をくぐる



桜木小学校入学生  
(57名)  
周陽中学校入学生  
(175名)



話 話  
はくってしょうかい

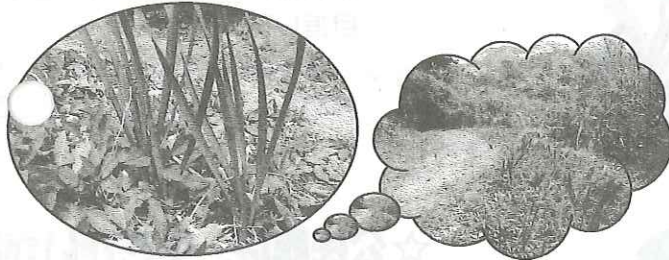


“とおの山語録”

滝も山も秋の気配。さざ波も静か。山頂に  
彼岸花とききょうの花が一輪 誰の心づかい  
か植えてあります。(9/24)

平原コースのほぼ五合目あたりに眺望の利く「見返り坂」  
があります。ベンチに腰を下ろすと手の届きそうな所に徳山  
の海があります。足元の小径の両側には、水仙が2株、3株  
と植えてあります。

どなたのお心づかいが、心がいやされます。



4月の公民館花壇



見どころポイント!

ピオラ・・・

大きい花ならパンジー、かわいいほうが  
良ければピオラでしょう。よく似た花で  
すが、少し大きさが違います。今回は、  
同じ色のピオラを4株づつ固めて植えて  
みました。暖かくなり、今では少し伸び  
すぎの感がありますが・・・

《俳句コーナー》

- ・ 新緑の 一山を入れ 絵筆持っ
- ・ 風薫る 子ら網振りて 小魚遊ぶ
- ・ 若葉風 入れて読経の 始まりぬ
- ・ 夏大根 土やけらかに 鋤きて播く
- ・ 溪水の 夏の匂ひを 手に掬い

(一洋)

5月 さくらぎカレンダー

- 1日 (火) 講座運営委員会 (9:30)  
裁判員制度について (10:30)
- 9日 (水) 桜木地区婦人会総会 (9:30)
- 10日 (木) 桜木地区コミュニティ  
推進協議会総会 (19:00)
- 11日 (金) 春の交通安全運動 (~20日)
- 10日 (日) 桜木地区卓球大会 (8:30~)

【 雑記帳 】

仏教の一宗派である禅宗に「啐啄(そったく)」  
と言う言葉があります。古語辞典によると「啐」  
は卵の殻の中で雛が鳴く声をいい、「啄」は、母  
鶏が雛を出そうとして殻をつつくこと、とありま  
す。雛の誕生には、殻から出たいと告げる雛の鳴  
き声と、親鳥の殻をつつく力とがピタリと重なっ  
たとき、殻を破る力が生まれるのです。この殻を  
挟んだ内と外との絶妙な力の呼応は「啐啄同時」  
とも言われています。

地域と学校が握手する『桜木ふれあいルー  
ム』が、桜木小学校の二画に脚光を浴びて登場  
しました。

「活動したくても場所がない」。地区内の多  
くの文化団体が抱き続けていた願いが、コミュ  
ニティ推進協議会で収束されました。

「子どもたちの人格形成には、地域力の導入  
が必要である」。先進的な経営で知られる学校  
側の大英断がありました。機まさに熟した時、  
『桜木ふれあいルーム』が誕生したのです。

明日からの地域の方々の活動が楽しみです。一  
方、子どもたちの学校生活には変化がおこるの  
でしょうか。「私たちの知らないことをいっば  
い教えてください」と願う子どもたちの夢を叶  
えてやれるのでしょうか。大人の舵取りはここ  
らあたりからになりそうです。